

身近な地質スポット

愛知県豊橋市／「渥美層群・海食崖」

今回は、渥美半島の外洋に面した風光明媚な海岸線の紹介です。

渥美半島は西部に分布する秩父帯中生界の山地と、その周辺の低地、半島東部に広く分布する更新統の海成段丘で構成されています。海成段丘は「天伯原面」と呼ばれる高位段丘と「福江面」と呼ばれる中位段丘からなり、天伯原面は浜名湖西岸から赤羽中村にかけての太平洋岸に、福江面は天伯原段丘より北側の高師原付近より中村以西まで分布しています。

段丘の頂面は全体的に北～北西へ傾斜し、天伯原面は浜名湖西岸で標高約80m、中村では標高約30mです。

福江面は標高約30mから約10mにまで高度を下げます。

このような渥美半島段丘面の高度分布を形成した構造運動を「渥美曲隆運動」と呼んでいます。

天伯原面の地層は渥美層群と呼ばれ、下位より二川層、田原層、豊橋層に区分されます。

これら各層の基底には下位の地層を削り込んだ開析谷が見られます。各層にはほぼ共通の堆積サイクルがあり、それは下位より河川性の礫質土、内湾性の細粒土、外浜の砂質土、海浜の礫質土から構成されることから、海進—海退による一連の堆積サイクルとしてとらえられています。

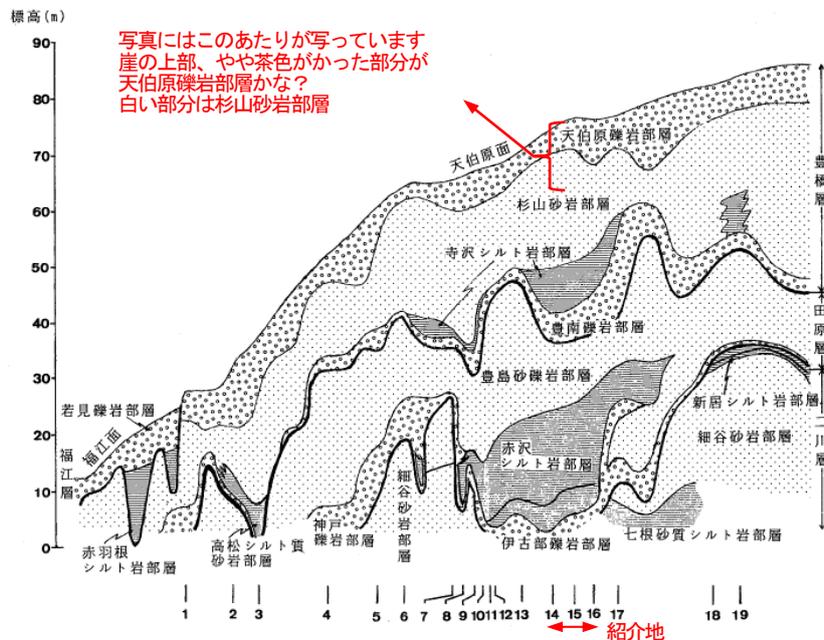


図-1 渥美層群の層序断面図

(出典：「地質学雑誌 Vol. 100／愛知県渥美半島に分布する更新統渥美層群の地質年代と対比について」島本昌憲ら)



写真-1 渥美層群の海食崖と遠州灘

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

めん処「勢川／二川店」 豊橋カレーうどん



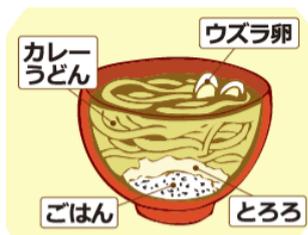
地図の出典：NAVITIME ホームページ <https://www.navitime.co.jp>

めん処 勢川／二川店



場 所：愛知県豊橋市東高田町 774
営業時間：11:00～20:30 (火～金 / 15:00～16:30 休憩)
定休日：月曜日

近年のB級グルメブームで豊橋の名物に。
特徴はうどんの下にとろろ、ごはんが隠れていること。
残りがちなカレーうどんを最後までおいしく食べてもら
う工夫なんだとか。
半熟ウズラ卵、チーズ、キャベツがおいしい。



豊橋カレーうどん



「豊橋カレーうどん」の5箇条

1. 自家製麺を使用する。
2. 器の底から、ごはん・とろろ・カレーうどんの順に入れる。
3. 豊橋産ウズラ卵を入れる。
4. 福神漬け又は壺漬け・紅しょうがを添える。
5. 愛情を持って作る。

図の出典：ええじゃないの豊橋ホームページ <http://www.honokuni.or.jp/toyohashi/udon/>